

「女性に対する暴力をなくす運動」の一環であるパープルリボン作成に参加して、啓発活動の一端に触れたことを嬉しく思います。リボンを作成中考えたことは、「小山市の3つのステップ」DVの正しい知識、適切な相談窓口、暴力を許さない社会の確立について全く知識がなかったことです。不勉強を痛感しました。併せて思ったのは、被害者は相談窓口をどのようにして知るのでしょうか。教宣活動が重要であると認識しました。(推進員 T・Kさん)

男女共同参画推進協議会のパープルリボン作成の活動に参加し、貴重な経験ができました。

またDVDを視聴して、たくさんの方が様々な不当な暴力を受け、助けを求めていることを改めて認識しました。男女共同参画が自然な形で受け入れられる社会を目指して、小さな力ですが活動していきます。(推進員 H・Oさん)

【2020年11月13日(金)～15日(日)】

【日本女性会議2020あいち刈谷に参加して】

先日行われた日本女性会議につきましては、3日間を通して3つの講演に参加させていただきました。

1つ目は「コロナ禍とジェンダー」について、上野千鶴子先生の講演でした。コロナ禍において、主に女性の生活に大きな変化があったことを振り返り、なぜ女性が仕事を辞めざるを得なかったのか、なぜ夫婦で貰える賃金の差が広がったのか、コロナ禍においてこのような格差社会が見える化されたことを学びました。そして、これからは女性もリーダーとして活躍でき、安心して弱者に寄り添える社会を作りたいという思いを感じました。

2つ目は「わたしが元気に活躍する地域づくり」に参加しました。このセクションでは愛知県の地域プロデューサーの方や女性町内会長の方の事例をもとにこれからどのような地域を作っていきたいかを考えました。グループディスカッションの際には私は、小山市はすぐ近くに大学があるという魅力を挙げ、大学生が意欲的にまちづくりに携わりたいという理想と東京に近いことから県内での就職率が低いという問題点を発表しました。

そして3つ目は「かけがえのない“わたし”を生きる」というテーマのもと、LGBT、ジェンダーの現状を考えました。日本は世界に比べてジェンダーギャップが大きく、そこには女性の活躍が遅れているという課題が関わっていることを知りました。小学校から高校くらいまで、私たちは男女平等な社会の中で過ごしてきましたが、就職してから“らしさ”の押し付けやどんな事でも無意識に当たり前だと押し付ける社会を作っていることを学びました。みんなが生きやすくなる社会を作るために、まずは仲間を作って声を上げること、そしてSNSやメディアを通してそれを見える化することできかけとなることを知りました。

3日間で今まで広く浅く学んできた事が、深く知れば知るほど社会の現状をより知ることができました。また他県の事例や体験談を得ることで、客観的に栃木県小山市を見つめ直すことができた素晴らしい機会になりました。これから将来、女性が当たり前活躍できるよりよい社会を作る為に、大学生として今できることを考えていきたいと思えます。

充実した3日間となりました。本当にありがとうございました。

「日本女性会議」とは

1975年の国連総会の理念である「平等・開発・平和」の基に定めた国連婦人の10年を記念し、1984年に第1回大会が名古屋市で開催されて以来、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進やネットワーク化を図ることを目的とした国内最大級の会議です。今年は、10月22～24日山梨県甲府市で開催されます。

団体の活動紹介

協議会には8つの推進団体が加入しております。今年度はコロナ禍により活動は制限されてきましたが、その中においても取り組めたことを報告します。

【新日本婦人の会小山支部】

コロナ禍の中で「新婦人の会」の活動を知らせるために取り組んだ事は、3つの地域を限定し、独自のチラシを作成して新聞折りこみをしました。ほかに、絵手紙、ちぎり絵、俳句、健康吹き矢、クリスマスリース作り、クッキング、オカリナ等、さまざまな内容を揃えてアピールしました。「平和のつどい」の開催では、ドキュメンタリービデオ鑑賞として、サーロー節子さんの『核なき世界へ言葉を探す』をみて、核廃絶署名行動への気持ちを新たにしました。



【よつ葉生協】

よつ葉生活協同組合は、「いのちと健康・くらしを守る」をモットーに、小山市に本部を置き、地産地消や有機農業の推進にも取り組む地域生協です。コロナ禍では感染防止に努めながら、組合員の皆さんに安心・安全な商品をお届け続けることに全力を注ぎつつ、免疫力アップに繋がる食生活のヒントなど情報発信にも努めました。コロナ禍で窮地に立たされた大学生や貧困家庭への支援募金活動にも力を入れています。



【とちぎつばさの会小山支部】

私たちは県が実施した海外研修の参加者が中心となって発足した「とちぎつばさの会」の小山支部です。「すべての人の本質的平等の理念に立って、男女共同参画社会の実現を目指す」ことを目的に活動しています。今年度の小山支部は、県や県南支部の研修に参加する他、ネットを活用して日常的に情報交換、意見交換することで、必要な時に的確に発信できる団体であるよう見識を磨きました。



【小山市商工会議所女性経営者会】寄せ植えに心も寄せて

11月26日（木）午前10時より小山市荒井の上野花園において、会員多数の参加を得て寄せ植え講習会を開催しました。



どれをとっても元々美しいお花の集まりですから、全員上々の出来上がりでした。心も明るくなった会員からの募金をいただき、これで例年通り社会貢献事業が見込めそうです。

コロナ禍において滞りがちな事業に、沈んでいた会員の心にも花が咲いたようでした。